

ロンドン公演に続く“ワールドツアー2018”待望の日本公演!



平井元喜ピアノリサイタル

MOTOKI HIRAI PIANO RECITAL

—がんと闘う世界のこどもたちに勇気と希望を—

IN AID OF THE ROYAL MARSDEN CANCER CHARITY

2018年11月13日[火]7:00 pm 浜離宮朝日ホール

TUESDAY, 13 NOVEMBER, 2018 7:00 PM HAMARIKYU ASAHI HALL, TOKYO



PROGRAM

J.S.バッハ：パルティータ第2番 ハ短調 BWV 826

J.S.Bach: Partita No.2 in C minor, BWV826

ベートーヴェン：6つのバガテル 作品126

Beethoven: 6 Bagatelles, Op.126

平井元喜：組曲 “伝説の詩” 2018年版 *日本初演
Motoki Hirai: 15 Folktale Pieces (2018) *Japan première

シューベルト (平井元喜編)：海辺にて D957-12 「白鳥の歌」より *日本初演
Schubert (trans. Motoki Hirai): Am Meer, D957 No.12 from Schwanengesang

シューベルト (ゴドウスキー編)：朝の挨拶 D795-8 『美しき水車小屋の娘』より
Schubert (trans. Godowsky): Morgengruß, D795 No.8 from Die schöne Müllerin

シューベルト (リスト編)：セレナーデ D957-4 『白鳥の歌』より
Schubert (trans. Liszt): Serenade, D957 No.4 from Schwanengesang

ショパン (リスト編)：乙女の願い『6つのポーランドの歌』より
Chopin (trans. Liszt): Maiden's Wish from 6 Chants Polonais

ショパン (リスト編)：春 『6つのポーランドの歌』より
Chopin (trans. Liszt): Spring from 6 Chants Polonais

メンデルスゾーン：ロンド・カプリチオーソ 作品14
Mendelssohn: Rondo Capriccioso, Op.14

“比類なき音楽性”

—英ガーディアン紙

全席指定 S席￥5,000 A席￥3,500 ミリオンチケット

朝日ホールチケットセンター03-3267-9990 チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード130617) イープラス <http://eplus.jp/>

後援：ブリティッシュ・カウンシル 一般社団法人日英協会 一般社団法人アーツ・ファンタジア

協賛：スタインウェイ・ジャパン コンサートマネジメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

*オックスフォード・ロンドン・東京、3公演の収益は「英王立マースデンがん基金」へ寄付されます



“終始一貫、あふれる音楽性…作曲家の意図を的確にとらえ、

同時に作品の本質を見抜いていた” ——サンダー・タイムズ紙

“繊細なタッチ、多彩な音色を備えたダイナミックな演奏” ——ガーディアン紙

“平井元喜の演奏は洗練されたものであり、聴衆に強い印象を与えた。

それはあたかも、私たちの時代における最高の音楽への扉を

少しずつ開いていくような格調高い演奏であった。” ——エル・ムンド紙



平井元喜 MOTOKI HIRAI

コンサート・ピアニスト、作曲家。1973年、チェリスト平井丈一朗を父に東京に生まれる。祖父・平井康三郎に作曲とピアノを、祖母にヴァイオリンを学ぶ。桐朋高校を経て、慶應義塾大学文学部哲学科卒。99年、英国王立音楽院大学院ピアノ科卒。同年、“サー・ジャック・ライオンズ音楽賞”受賞。00年ロンドン・シティ大学修士課程修了。フランク・ウイナー、ジェームズ・ギブ、パツィー・トウ、ジョセフ・セイガー各氏に師事。これまで英国、ヨーロッパ・中東・アフリカ・北米・中南米・アジア各地など世界60カ国以上を演奏旅行。

2011年、カーネギーホール(NY)でデビュー・リサイタルを行い絶賛される。ロンドンでは、“室内楽の殿堂”ウイグモアホールやカドガンホールなどではしばしばリサイタルを開催し、いずれも高い評価を得ている。14年、カーネギーホールに再登場し、オランダのコンセルトヘボウ・デビューも成功へと導く。2016年、コンセルトハウス(ウィーン)、バービカンセンター(ロンドン)、コンセルトヘボウ(アムステルダム)、銀座王子ホール(東京)など世界各地をリサイタルツアー。また、スマーナホール(プラハ)、モーツアルトホール(ブルノ)などでチェコ・ヴィルトゥオージ室内管弦楽団と協演し好評を博す。

作曲家としては、ピアノ曲、室内楽曲から映画音楽まで幅広く手がけ、その作品はカーネギーホール(NY)、全米桜祭り100周年オープニング(ワシントン)、サウスバンク・センター、セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ、セント・ジョンズ=スミス・スクエア、ユニコーン劇場、チャーチ・オブ・エリザベス(ロンドン)、ブルックス・フェスティバル(オックスフォード)、パリ日本文化会館(フランス)、ミラノ万博(ミラノ)、カザルス音楽堂(バルセロナ)、国立美術館(リオデジャネイロ)、カメリ劇場(イスラエル)、アルカサバ劇場(パレスチナ)、ダニエル・ソラノ国立劇場(ダカール)、ムセイオン・コンサートホール(南ア)、NHKホール、東京オペラシティ、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭(以上東京)など内外各地で演奏されている。

英王立マースデンがん基金について

THE ROYAL MARSDEN CANCER CHARITY

ロンドン市内チャーチ地区にある英王立マースデン病院は、1851年に世界初の無料のがん医療専門病院として設立され、現在でも世界のがん医療・研究の最先端として知られています。ロンドン郊外サリー州サットンの小児病棟は故ダイアナ妃によりオープン。その後、2011年に英王立マースデンがん基金現会長・英ウイリアム王子によりThe Oak Centre for Childrenとしてリニューアルしました。平井元喜は2014年以来、王立マースデン病院および、王立マースデンがん基金と協力し、“音楽を通じて、がんと闘う世界の子供たちやご家族に勇気と希望を与える”ことを目的にチャリティー・コンサートを続けています。今秋、オックスフォード、ロンドン(カドガンホール)、東京(浜離宮朝日ホール)でチャリティー公演を開催するほか、王立マースデン病院で慰問コンサートを行います。音楽を通じた「心のケア」に重きを置くこのチャリティー活動には、以下の5つが含まれます。

- ① がんと闘う子どもたちとご家族・関係者をコンサートへ招待する
- ② 外出困難な患者さんのために王立マースデン病院を慰問し演奏する
- ③ がん医療の質の向上や、がんの特効薬・早期発見ツールの研究と開発につながる募金活動を広く行う
- ④ がんの患者さんと健康な人たちが交流できる場を創出する
- ⑤ 「命の尊さ」「がんの予防と共生」「がん撲滅」への意識向上を促す



www.motoki-hirai.com

